

# 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

## 委員一覧（20名）

委員長	山谷 えり子（自民）	井上 義行（自民）	川合 孝典（民進）
理事	北村 経夫（自民）	衛藤 晟一（自民）	柳田 稔（民進）
理事	島村 大（自民）	塚田 一郎（自民）	横山 信一（公明）
理事	白 眞勲（民進）	中山 恭子（自民）	武田 良介（共産）
理事	山本 博司（公明）	三原じゅん子（自民）	高木 かおり（維新）
	青山 繁晴（自民）	山崎 正昭（自民）	伊波 洋一（沖縄）
	赤池 誠章（自民）	大野 元裕（民進）	（29.1.20 現在）

## （1）審議概観

第193回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

### 〔国政調査〕

安倍内閣総理大臣の施政方針演説では、「対話と圧力」、「行動対行動」の一貫した方針の下、核、ミサイル、そして引き続き最重要課題であり、発生から長い年月が経つ拉致問題の包括的な解決に向け、北朝鮮が具体的な行動を取るよう強く求めることが表明された。

3月29日、北朝鮮をめぐる最近の状況について岸田外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について加藤国務大臣からそれぞれ説明を聞いた。

5月10日、北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立について、参考人とし

て、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表飯塚繁雄君、横田早紀江君、斉藤文代君、北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長・麗澤大学客員教授西岡力君及び特定失踪者問題調査会代表・拓殖大学海外事情研究所教授荒木和博君を招致し、意見を聞いた後、質疑を行った。

6月9日、朝鮮半島有事における拉致被害者を含む邦人保護、拉致被害者の認定、拉致問題の取組強化、日朝間におけるストックホルム合意、拉致問題解決に向けた国際的連携、北朝鮮の核・ミサイル開発と国連安保理の対応、北朝鮮に対する我が国の制裁措置等について質疑を行った。

## （2）委員会経過

平成29年1月20日（金）（第1回）

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。
- 平成29年3月29日（水）（第2回）
- 北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件について岸田外務大臣から説明を聞き、拉致問題をめぐる現状に関する件について加藤国務大臣から説明を聞いた。

平成29年5月10日（水）（第3回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する件について次の参考人から意見を聞いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表

飯塚繁雄君

横田早紀江君

斉藤文代君

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための  
全国協議会会長

麗澤大学客員教授 西岡力君

特定失踪者問題調査会代表

拓殖大学海外事情研究所教授 荒木和博君

〔質疑者〕

北村経夫君（自民）、白眞勲君（民進）、横  
山信一君（公明）、武田良介君（共産）、高  
木かおり君（維新）、伊波洋一君（沖縄）

平成29年6月9日（金）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 朝鮮半島有事における拉致被害者を含む邦人保護に関する件、拉致被害者の認定に関する件、拉致問題の取組強化に関する件、日朝間におけるストックホルム合意に関する件、拉致問題解決に向けた国際的連携に関する件、北朝鮮の核・ミサイル開発と国連安保理の対応に関する件、北朝鮮に対する我が国の制裁措置に関する件等について加藤国務大臣、岸田外務大臣、若宮防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

青山繁晴君（自民）、中山恭子君（自民）、  
大野元裕君（民進）、横山信一君（公明）、  
武田良介君（共産）、高木かおり君（維新）、  
伊波洋一君（沖縄）

平成29年6月16日（金）（第5回）

- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。